

2社での経験で物流業界の問題点がみえてきた青木さんは、日本初の物流専門のコンサルティング会社を設立。96年の創業以来、中立な立場でのコンサルティング活動により、物流業界で着実に存在感を高めてきた。

しかし、コンサルだけでは限界を感じ始めていたという。

「コンサルティング事業はおかげさまで好評でニーズも高いのですが、コンサルだけでは現場の改善が進まないこともわかりました。物流のコンサルを起点にして、それに付随するサービスも提供しなければ、真の現場改善は進まないと実感したのです」

そこで立ち上げた事業の1つが、『ロジキャリアバンク』という人材紹介事業だ。これは物流業界に特化した人材紹介サービスで、物流分野の経験者を正社員として紹介するというもの。ミドルマネジメントクラスが中心で、これまでにセンター長や事業所長、物流部長など、多数の紹介実績を持つ。求職者、求人企業双方からヒアリングした上でマッチングを行うため、意欲のある人材を採用でき、定着率も高まるという。

経営のテコ入れは
物流改善から

「欲しいとき」「欲しいものを」「欲しい数だけ」
安定して供給されるしくみ作り

（株）日本ロジファクトリー代表取締役 青木正一

物流改善のノウハウを学べる書籍を出版

また、実務コンサルティングのプロのスタッフが直接依頼企業の物流をプロデュースし、現場改善にあたる『物流アウトソーシング事業』も好評だ。同社はノンアセット型なので、アセット・ハードにとらわれることなく、依頼企業の物流特性に合わせた最適な物流網・施設・システムを構築できるメリットがある。

「私がめざしているのは、荷主企業と物流企業の温度差をなくす“物流バンク”。ここに相談すれば物流の問題なら何でも解決できるよう、さまざまなサービスを立ち上げているのです」

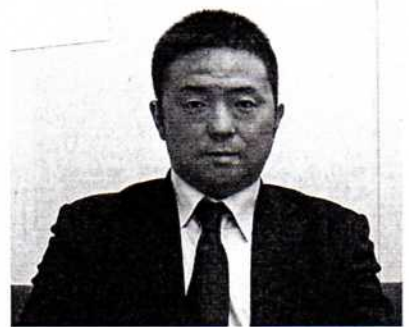
人材教育で物流業界を変えたい

もう1つ、青木さんが重視しているのが人の教育だ。青木さんによれば、“物流は人なり”。どんなに有用な仕組みが構築されていても、最後に問われるのは、それを実際に運用する側の資質だという。

そこで青木さんは、物流専門の教育機関“物流実務カレッジ”を設立。物流のプロを養成する教育機関が初めてなら、それを一民間企業が設立するのも初めてという、本格的な物流ビジネススクールだ。

カレッジでは、実際に物流の現場で働いている社会人向けと、これから物流業界をめざそうとしている学生向けの2つのコースを用意。社会人向けには、“センター長・所長育成コース”、“3PLプロフェッショナルマネージャーコース”など5つのコースがあり、3か月～1年間かけて物流のプロを養成していく。一方、学生向けは1年間の全日制で、物流の基本的な知識を身につけるといふ。

さらには、物流関連企業に対し、ユー



青木正一社長

ザーごとにカスタマイズした企業内研修も行っている。

「物流の現場に20年近く携わってきて思うのは、業界が遅れている、物流の位置づけが低いということ。

たとえば、メーカーでは物流部門は決して出世ルートとはいえ、2～3年で担当者が変わってしまうことがしばしば。そのため物流部門のプロが育たず、担当者が変わるたびに運用方法が変わってしまう弊害が起こっています。また、人気就職先ランキングに物流会社が入ることはほとんどないでしょう？ きつそう、大変そうというイメージがあるので、優秀な人材がなかなか集まらないのです。

でも物流はやればやるほど奥が深いし、企業を支える土台なんですよ。物流が強い企業は企業体質が強い。でも、企業体質が強いからといって物流が強いわけではありません。つまり、物流がしっかりしていれば会社はよくなる可能性が高い。そのことを多くの経営者に知ってもらうためにも、物流の地位改善に取り組んでいきたいのです」

物流業界の革命児となって多くの企業の改善を支援し、“物流界に青木あり”といわれるような会社にしていきたいという。

（株）日本ロジファクトリー

所在地 大阪市中央区南船場2-11-18
TEL 06-6245-3368
設立 平成8年7月
売上高 1億3,200万円